

第七十四回帝國議會
衆議院

人事調停法案委員會會議錄(速記)第十九回

會議

昭和十四年三月二十二日(水曜日)午後一時
四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 牧野 賤男君
理事古島 義英君 理事伊藤 五郎君
理事江原 三郎君 理事崎山 嗣朝君

一松 定吉君 高橋 義次君
齋藤 直橋君 小畑虎之助君
山本 条吉君 庄司 一郎君
松川 昌藏君 濱田 國松君
山本 芳治君 石坂 繁君
長谷 長次君 佐竹 晴記君
椎尾 辨匡君

三月二十日商法ヲ引用スル條文ノ整理ニ關
スル法律案(政府提出、貴族院送付)ノ審査
ヲ本委員ニ付託セラレタリ
出席政府委員左ノ如シ

內務參與官 中井 一夫君
司法政務次官 倉元 要一君
司法參與官 濱野徹太郎君

シ

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如
シ
司法省民事局長 大森 洪太君
司法省刑事局長 松阪 廣政君
司法書記官 森山武市郎君
議員鹽川 正藏君 議員野村 嘉六君
議員森田重次郎君 議員池田 清秋君

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
司法書士法中改正法律案(鹽川正
藏君外一名提出)
司法書士法中改正法律案(中山福
藏君外二名提出)
建築士法案(野村嘉六君外七名提
出)
行政書士法案(中山福藏君外二名
提出)
非訟事件手續法中改正法律案(政
府提出、貴族院送付)
裁判所構成法中改正法律案(政府
提出、貴族院送付)
民事訴訟法中改正法律案(牧野賤
男君外二名提出)
計理士法中改正法律案(中野治介
君外二名提出)
檢査計理士法案(森田重次郎君外
三名提出)
裁判所構成法中改正法律案(岡本
實太郎君外十二名提出)
辯護士法中改正法律案(池田清秋
君外一名提出)
辯護士法中改正法律案(高橋義次
君外七名提出)
辯護士法中改正法律案(服部英明
君外一名提出)
公證人法中改正法律案(中野治介
君提出)
刑事訴訟法中改正法律案(高橋義
次君外六名提出)
刑事訴訟法中改正法律案(俵孫一
君外十七名提出)
刑事訴訟法中改正法律案(堀切善
兵衛君外二十四名提出)
刑事訴訟法中改正法律案(石坂繁
君外一名提出)
刑事訴訟法中改正法律案(中村高
一君外一名提出)
競争入札ノ取締等ニ關スル法律案
(福田關次郎君提出)
商法ヲ引用スル條文ノ整理ニ關ス
ル法律案(政府提出、貴族院送付)

議員服部 英明君 議員中野 治介君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

司法書士法中改正法律案（鹽川正藏君外一名提出）

司法書士法中改正法律案（中山福藏君外二名提出）

建築士法案（野村嘉六君外七名提出）

行政書士法案（中山福藏君外二名提出）

計理士法中改正法律案（中野治介君外二名提出）

檢査計理士法案（森田重次郎君外三名提出）

辯護士法中改正法律案（池田清秋君外一名提出）

辯護士法中改正法律案（高橋義次君外七名提出）

辯護士法中改正法律案（服部英明君外一名提出）

公證人法中改正法律案（中野治介君提出）

刑事訴訟法中改正法律案（高橋義次君外六名提出）

商法ヲ引用スル條文ノ整理ニ關スル法律案（政府提出、貴族院送付）

○牧野委員長 只今ヨリ會議ヲ開キマス、

求メマス
○倉元政府委員 商法ヲ引用スル條文ノ整理ニ關スル法律案ニ付テ、御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、本案提案ノ理由ニ付キマシテハ、本會議ノ際其ノ概要ヲ申述ベタノデアリマスガ、去ル第七十三回帝國議會ニ於キマシテ御協賛ヲ得マシタ商法中改正法律及ビ有限會社法ハ、何レモ昨年四月公布セラレマシテ、目下當局ニ於テ其ノ施行ノ準備ヲ進メテ居ル次第デアリマス、然ルニ商法ノ改正ハ御承知ノ如ク主トシテ總則編及ビ會社編ニ關スルモノデアリマスガ、第三編商行爲以下ノ規定ニ付キマシテモ、條數ノ變更等ノ改正ガ行ハレマシタ結果、從前ノ商法ノ規定ヲ引用シテ居リマス他ノ法律ノ條文デ、從前ノ商法ノ規定ト之ニ該當スル改正後ノ規定トヲ置替ヘル必要ヲ生ズルモノガ、多數アルノデアリマシテ、其ノ外有限會社法ノ制定ニ伴ヒ改正ヲ要スルモノモアルノデアリマス、本案ハ斯様ナ法律ノ條文ニ付キマシテ、商法ノ改正及ビ有限會社法ノ制定ニ伴フ整理、即チ必要已ムヲ得ザル限度ノ改正ヲ加ヘントスルモノデアリマス、尙ホ詳細ノ點ハ御質問ニ應ジ政府委員ヨリ御説明申上ゲルコトニ致シタイト存ジマス、何卒御審議ノ上本案ノ通過ニ

御盡力アラシコトヲ切望致ス次第デアリマス

○齋藤委員 議事ノ進行ニ付テ——前回繼續シテ居リマシタ刑事訴訟法ノ議案ハ、如何ニナリマスカ

○牧野委員長 是ハ政府案ニシテ初メテ來タ案デアリマスルカラ、説明ヲ聽イテ、ソレカラ質疑ガアルカナイカ、質疑ガアレバドノ程度デ凡ソ切上ゲルカラ見マシテ、先ニ質疑ヲ打切ツタ非訴事件手續法中改正法律案、ソレカラ裁判所構成法中改正法律案ト同時ニ、採決致シタイト思ツテ居リマス、其ノ後ニ刑事訴訟法中改正法律案ニ著手スルノデスガ、若シ此ノ採決スル案ガ本日ノ本會議ニ上程出來ナイヤウナ模様デアレバ、採決ヲ延シテ刑事訴訟法ニ移ルコトニシマス

○一松委員 今ノ刑事訴訟法デゴザイマスガ、是ハ私共ノ方デハ院内總務ノ交渉會ノ交渉委員ノ方カラ交渉會ノ席上ニ持出シマシテ、刑事訴訟法ハ若シ本日委員會ノ採決ガ終了致シマスルナラバ、本會議ニ緊急上程ヲスルト云フコトニマデ運シデ居ルヤウニ、承知シテ居ルノデアリマスカラ、ドウカソレ等ノ點ヲ御考慮ニ入レラレマシテ、成ダケ促進致シマスルヤウニ、委員長ニ於

テ特ニ御取計ヒヲ御願致シマス

○牧野委員長 今江原君ガ參リマス、江原君ガ專ラ其ノコトヲ扱ツテ居リマスカラ、來マシタ上デ決定致シマス——商法ヲ引用スル條文ノ整理ニ關スル法律案、之ニ付テ只今政府委員ノ説明ガアリマシタガ、御質問ガアレバ……

○一松委員 實ハ私共ハ此ノ前ノ非訴事件手續法ニセヨ、本法案ニ致シマシテモ、他ノ委員諸君モ同様デアラウト思ヒマスガ、詳細之ヲ各本條ニ對照致シマシテ研究ヲシテ居ラヌト思フノデアリマス、サウカト云ツテ會期切迫ノ今日、彼此レ審議ノ遲滯ヲ招クヤウナコトハ私共ハ申上ゲタクナイノデアリマスカラ、幸ヒ大森民事局長ニ於カセラレマシテ、此ノ法律案ノ第一條カラオ終ヒマデノ法文全部トハ申シマセヌ、此ノ中デ特ニ吾々委員ガ承知シテ置クコトガ必要デアラウト思フヤウナ點ヲ、逐條審議的ニ吾々ノ納得スルヤウニ御説明ヲ賜ハルト云フコトガ、審議ヲ促進スル上ニ於テ必要デハナカラウカト思フノデアリマス、注意スベキ點ヲ特ニ簡單ナ時間デ宜シイカラ御説明ヲ願ヒタイ

○大森政府委員 御指圖ニ依リマシテ商法ヲ引用スル條文ノ整理ニ關スル法律案ニ付

テ特ニ御取計ヒヲ御願致シマス

○牧野委員長 今江原君ガ參リマス、江原君ガ專ラ其ノコトヲ扱ツテ居リマスカラ、來マシタ上デ決定致シマス——商法ヲ引用スル條文ノ整理ニ關スル法律案、之ニ付テ只今政府委員ノ説明ガアリマシタガ、御質問ガアレバ……

○一松委員 實ハ私共ハ此ノ前ノ非訴事件手續法ニセヨ、本法案ニ致シマシテモ、他ノ委員諸君モ同様デアラウト思ヒマスガ、詳細之ヲ各本條ニ對照致シマシテ研究ヲシテ居ラヌト思フノデアリマス、サウカト云ツテ會期切迫ノ今日、彼此レ審議ノ遲滯ヲ招クヤウナコトハ私共ハ申上ゲタクナイノデアリマスカラ、幸ヒ大森民事局長ニ於カセラレマシテ、此ノ法律案ノ第一條カラオ終ヒマデノ法文全部トハ申シマセヌ、此ノ中デ特ニ吾々委員ガ承知シテ置クコトガ必要デアラウト思フヤウナ點ヲ、逐條審議的ニ吾々ノ納得スルヤウニ御説明ヲ賜ハルト云フコトガ、審議ヲ促進スル上ニ於テ必要デハナカラウカト思フノデアリマス、注意スベキ點ヲ特ニ簡單ナ時間デ宜シイカラ御説明ヲ願ヒタイ

○大森政府委員 御指圖ニ依リマシテ商法ヲ引用スル條文ノ整理ニ關スル法律案ニ付

テ特ニ御取計ヒヲ御願致シマス

テ、數行的御説明ヲ申上ゲタイト存ズルノ
デアリマス、本案モ昨年御協賛ヲ經マシタ
商法中改正法律ノ施行ニ伴フ改正法律案デ
アリマス、既ニ當委員會ニ於テ同種類ノ法
案數種ノ御審議ヲ願ツタノデアリマスガ、
本法案ハ其ノ中ニ於キマシテモ最モ機械的
ノモノデアリマス、御承知ノ通り他ノ法律
ニ於キマシテ商法ノ條文ヲ準用致シマシタ
モノ、又商法ノ條文ノ或ルモノヲ掲ゲテ其
ノ規定ハ斯ル場合ニ之ヲ適用セズト云ツタ
趣旨ノ規定ヲ設ケマシタモノ、即チ商法ノ
條文ヲ引用致シタモノガ約六十種モアルノ
デアリマス、ソレ等ニ付キマシテ本來ナラ
バ商法中改正法律ノ條文ノ數ガ變リマシタ
カラ、一々置替ヘナケレバナライノデア
リマスルケレドモ、後ニ申述べマスル通り
ニ、其ノ約六十種ノ法律ノ中デ三十八種ダ
ケ、此ノ置替ヲ必要トスルニ至ツタノデア
リマス、即チ本法案ハ右申シマシタ三十八
種ノ法律ニ付キマシテ、商法ノ引用條文ヲ
ソレノ新規定ニ即應シテ置替ヲ致シタノ
デアリマス、尙ホ御承知ノ有限會社法モ出
來マシタカラ、此ノ有限會社法ノ規定モ適
宜ニ挿入ヲ致シタ次第デアリマス、此ノ他
ノ法律デ引用致シテ居リマスル商法ノ條文
ノ置替ニ當リマシテ、其ノヤリ方ト致シマ

シテハ三ツノ方法ガ考ヘラレラウト思
フノデアリマス、先ヅ其ノ第一ノ方法ハ此
ノ儘抛ツテ置キマシテ何ニモシナイ、唯解
釋ニ任セマシテ、商法ノ條文例ヘバ第十條
ヲ引用シテ居リマスルケレドモ、此ノ第十
條ハ新規定ノ第二十條ニ當ルモノト致シマ
シテ、第十條ガ第二十條ノ意味デアルト云
フコトヲ解釋上考ヘテ取計ラツテ行キマス、
詰リ何ニモヤライノガーツノ方法デア
ト思ヒマス、是ハ最モ不親切ナヤリ方デア
リマス、第二ノ方法ト致シマシテハ、他ノ
法律デ引用シテ居リマスル限リニ於テハ、
從來ノ規定ガ生キテ居ルモノト致シマシテ、
唯法律ヲ一條文ヲ拵エマシテ、他ノ法律ニ引
用スル限リニ於テハ從前ノ規定ニ依ルト云
ツタ趣旨ノコトヲ掲ゲルノデアリマス、是
ハ簡單ニ濟ムノデアリマスルケレドモ、他ノ
法律ニ引用シテ居リマスル限リニ於テ從前
ノ法律ハ何時マデモ存續スルト云フコトニ
ナリマスルト、法規ノ整備ト云フコトカラ
申シマスルト、甚ダ望マシカラザルヤリ方
デアリマス、第三ノ方法ハ、他ノ法律ニ引
用シテ居リマスル一々ノ場合ニ當リマシテ、
ソレヲ書替置替ヘルノデアリマシテ、實ニ
ウルサイ勞作デアリマスルケレドモ、ヤリ方
トシテハ最モ親切ナモノデアラウト存ズル

ノデアリマス、ソレデ本案ハ右申シマシタ
第三ノヤリ方ニ從ヒマシテ、必要ナル總テ
ノ規定ヲ此處ニ置替ヘタ次第デアリマス、
其ノ置替ニ付キマシテモ三通リノ方法ガア
ルノデアリマシテ、其ノ三通リノ方法ヲ此
ノ案デハ併セ用ヒタノデアリマス、第一ノ
方法ハ第何條、第何條トアリマスルノヲ、
新規定ニ對應シマシテ全ク之ヲ新ニ置替ヘ
マシテ、例ヘテ申シマスルト、第二條ノ中
ノ第三十三條、即チ家畜保險法ノ第三十三
條ヲ修正シタモノデアリマス、印刷物ノ第
一頁ノ眞中ニアリマス、是ハ御覽ノ通り
ニ條文ヲ總テ置替ヘマシテ、商法第何條、
第何條ノ規定ハ云々、斯様ニ致シマシタ、
第二ノ方法ハ、其ノ直グ次ノ條ニアリマス
ルガ、ヤハリ「家畜保險法中左ノ通り改正
ス」其ノ中デアリマシテ、「第四十七條第二
項ヲ削リ同條ニ左ノ二項ヲ加フ組合員ハ總
會ニ於テ決議ニ對シ異議ヲ述ベタルトキ又
ハ正當ノ理由ナクシテ總會ニ出席スルコト
ヲ拒マレタルトキニ限リ又組合員ガ總會ニ
出席セザル場合ニ於テハ自己ニ對スル總會
ノ招集ノ手續ガ法令又ハ定款ノ規定ニ違反
スルコトヲ理由トスルトキニ限リ前項ノ訴
ハ提起スルコトヲ得」云々ト云フコト、是
ハ唯條文ヲ置替ヘタダケデハナシニ、文字

デ明ニ示シタノデアリマス、是ハ御承知ノ株
主總會ノ決議取消ノ訴ニ付テノ條文ヲ準用
シテ居ルノデアリマスルガ、此處ニ掲ゲテ
アリマスル明文ニ當リマスル所ハ、御承知
ノ現行規定ノ第六十三條第二項デアリマ
ス、ソレヲ新規定デハ削ツタノデアリマス、
ソレデアリマスルカラ若シ新シイ條文ニ其ノ
儘置替ヘマスルト、此ノ第六十三條第二項
ト云フモノハ無クナルノデアリマスルケレ
ドモ、家畜保險法ニ關スル限リニ於キマシ
テハ、在來ノ第六十三條第二項其ノモノ
ヲ置イテ貫ヒタイト云フ希望デアリマシテ、
ソレハ其ノ儘在來ノ規定通りニスル、實質
ヲ在來ノ規定ト同ジウスルト云フ趣旨ニ於
キマシテ、斯様ニ明文ヲ此處ニ掲ゲタ次第
デアリマス、是ガ第二ノ方法デアリマシテ、
斯様ナ第二ノ方法ヲ執リマシタ所ガ外ニ數
箇所アリマス、ソレカラモウ一ツノヤリ方
ハ、本案ノ印刷物ノ第五頁ニアリマスルガ、
第五頁ノ終カラ四行目デアリマス、「第九條
自動車製造事業法中左ノ通改正ス」ト致シマ
シテ「第十條第一項中」商法第二百條ノ規定
ニ依ル制限」ヲ「商法ニ規定スル制限」ニ改
ム」斯様ニ致シマシタ、即チ第一ノ方法ニ從
ヒマスルト、商法第二百條ノ規定ニ依ル制
限ト云フノヲ改メマスレバ、ヤハリ新規定

ノ條文ノ數ヲ掲ゲマシテ、商法第何條ノ規定ニ依ル制限ト致サナケレバナライノデアリマス、然ルニ此ノ商法第二百條ニ付テダケデアリマスルガ、斯様ニ抽象的ニ「商法ニ規定スル制限」ト書キマシタノハ、御承知ノ日本發送電株式會社法外數種ノ法律ニアルノデアリマシテ、ソレ等ノ法律ト權衡ヲ保チマシテ、即チ第二百條ニ關スル限リ整理ノ形ヲ揃ヘテ行キマスルナラバ、「商法ニ規定スル制限」斯様ニ抽象的ニ記載シナケレバナライノデアリマス、詰リ第一ノ方法ハ、條文ヲ正直ニ丁寧ニ其ノ儘置替ヘルコト、第二ノ方法ハ、之ニ變更ヲ加ヘテ其ノ變更ヲ加ヘタ部分ヲ明文デ掲ゲルコト、第三ハ、抽象的ニ商法ニ依ル制限云々ト斯様ニ書クコト、此ノ三通リヲ併セ用ヒタノデアリマシテ、而モ御覽ニナリマスル通り、第一ノ方法、條文ノ數ヲ正直ニ其ノ儘置變ヘタモノガ大部分ヲ占メテ居ルノデアリマス、何ガ故ニ第一第二第三ノ方法ヲ併用シタカト申シマスルト、先程申シマシタ通りニ、實質上ノ必要モアリマスルシ、又或モノニ付テハ權衡上法規整理ノ體裁ヲ整ヘル爲デモアツタノデアリマス、斯様ニ致シマシテ三十八種ノ法律ニ付テ總テ實ハ克明ニ當リマシテ、漏レナキヲ期シタ次第

デアリマス、而モ此ノ三十八種ノ法律ハソレゾレ所管省ガ違ツテ居リマシテ、各省總テト漏レナク打合せヲシタ次第デアリマス、實ニ機械的ノ勞作デアリマシテ、率直ニ申シマスレバ、大變苦勞ヲ致シマシタ、併シ斯様ナ苦勞ハ當然爲スベキコトデアラウト思フノデアリマス、尙ホ先程申述ベマシタヤウニ、商法ノ條文ヲ引用致シテ居リマスルモノガ約六十種、其ノ中本案ニ依ツテ改正ヲ必要トシマスモノガ三十八種デアリマス、其ノ残りノモノ即チ商法ノ條文ヲ引用致シテ居リマスルケレドモ、本案デ之ヲ改正スル必要ノナイモノ、ソレヲ一二擧ゲテ見マスルト、例ヘテ申シマスルト、商法ノ從前ノ規定ヲ引用シテ居リマスルケレドモ、其ノ問題ハ既ニ事濟ミデアリマシテ、將來決シテ適用ノ餘地ナキモノ、是等ハ之ヲ改メル必要ナシトシテ手ヲ觸レマセヌデシタ、例ヘテ申シマスルト、日本通運株式會社法ノ第二十三條ニ、日本通運株式會社ヲ設立スルニ付キマシテ其ノ株式申込證ノ要件トシテ、在來ノ現行商法ノ規定ヲ準用致シテ居リマス、併シ御承知ノ通りニ、日本通運株式會社ハモウ出來上リマシテ、將來此ノ會社ヲ重ネテ設立スルト云フコトハ固ヨリアリマセヌカラ、此ノ株式申込證ノ部分ニ在

來ノ規定ヲ引用シテ居ルモノハ、之ヲ改メル必要ハ全クナイ譯デアリマス、同種ノモノガ東北興業株式會社法、東北振興電力株式會社法外十數種ノ法律ニアルノデアリマス、又例ヘバ社債即チ債券發行ニ關スル規定デアリマシテ、其ノ條文ノ中ニ在來ノ商法ノ規定ヲ準用致シテ居リマスルケレドモ、其ノ發行期間ガ既ニ經過シテシマヒマシタモノ、是亦事濟ミノ事柄デアリマシテ、改メテ商法ノ新規定ニ置替ヘル必要ハナイノデアリマス、ソレハ貯蓄債券法、復興貯蓄債券法デアリマス、ソレカラ今議會ニ他ノ法案トシテ提出ヲ致シマシテ、御審議ヲ願ヒマシタモノガアリマス、ソレハ他ノ法案自身ニ於テ書替ヲ致シマシタカラ、此ノ法案トシテハ書替ヘル必要ハナイノデアリマス、例ヘテ申シマスルト、前回來御審議ヲ願ツテ居リマシタ非訟事件手續法中改正法律案、ソレカラ保險業法中改正法律案、地方鐵道法中改正法律案、登錄稅法中改正法律案、是等ハ商法ヲ多數引用シテ居リマスルケレドモ、其ノ法案獨自ノ立場デ、ソレノ整理ヲ致シマシタカラ、本法案トシテ整理ヲスル必要ハナイノデアリマス、斯様ニ致シマシテ結局殘リマシタ三十八種ノ法律ニ付キマシテ、其ノ引用ヲ悉ク整理致シタノガ本法案デア

リマス、甚ダ機械的ナモノデアリマス、御審議ニ大變煩雜デアツテ恐縮デアリマスルケレドモ、其ノ趣旨ハ今申述ベタ所ニ止マルノデアリマス、左様御諒承願ヒタイノデアリマス

○古島委員 私ハ根本ニ疑ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ法律ハ洵ニ司法省トシテハ便利デアリマス、所ガ外ノ人民トシテハ斯ウ云フ法律ヲ拵ヘルコトハ、洵ニ迷惑ナノデアリマス、即チ三十八種ノ法律ガ此ノ商法ヲ引用スルト云フナラバ、其ノ三十八種ノ法律ヲ改正致シ、商法何條ヲ引用スルト云フコトニシテ戴カナケレバ、商法デモナイ、或ハ又家畜保險法デモナイ、簡易生命保險法デモナイ、人間ニハ第三者ト云フノガアルガ、マルデハ法律ノ第三者デアリマス、斯ウ云フモノガ出來テ居ツテハ商法ノ條文ヲ見デモ分ラズ、他ノ家畜保險法ヲ見デモ分ラズ、三十八種ノ法律ヲ見デモハ分ラナイ、此ノ法律ヲ見ナケレバドレガドウナツテ居ルカ分ラナイ、是ハ司法省トシテ餘リニ我儘ガラウト思フ、是ハ實際カラ言ヘバ、御面倒デモ列舉シテアル三十八種ノ法律ヲ皆改正セネバナラス、役所ノ方ハ便宜デ宜イカモ知ラスガ、人民トシテハ餘リニ便宜過ギテ洵ニ迷惑デアリマス、

斯ウ云フコトハマア憲法違反ニハナリマス
マイガ、少クトモ再ビ繰返スベキヤリ方デ
ハナイト私ハ思ヒマス、今後ハ十分御注意
アツテ然ルベキト思ヒマス

○大森政府委員 御尤ノ御意見デゴザイマ
ス、唯本法案ガ幸ニ御協賛ヲ經マシテ實施
ニナリマスレバ、例ヘテ申シマスレバ今御
指摘ニナリマシタ家畜保險法ノ該當條文ハ、
ソレノ本法ノ實施ニ於テ書替ニナルノデ
アリマス、即チ家畜保險法ガ其ノ儘此ノ形
ニ於テ書替トナリマスカラ、本法實施後、家
畜保險法ヲ御覽ニナリマスレバ、新シイ所
デ整理サレテ居ル譯デアリマス、左様御承
知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○古島委員 サウ致シマス、一應此ノ法
律ヲ通シテ置イテ、サウシテ此ノ三十八種
ノ法律ヲ一々書替フ致サウト云フ、即チ三
十八種ノ法律ノ改正案ヲ出ス代リニ、此ノ
法律案ヲ出サレタノデアリマスカ

○大森政府委員 御趣旨ノ通りデ、是ガ實
施サレマス、三十八種ノ法律ガ其ノ儘改正
ニナリマスカラ、三十八種ノ法律ヲ三十八
通りニ改正スルノヲ、此ノ法律案一ツニ纏
メマシタ、斯様ニ御諒承ヲ願ヒタイノデア
リマス

○古島委員 サウ云フ我儘ナ自分勝手ナコ

トハ、ドウモ許サレヌト思ヒマス、何十ト
云フ法律ヲ一ツノ法律デ全部改正シテシマ
フト云フ御答辯ハ、ソレハ餘リ我儘過ギル
ト思ヒマス、研究スル餘地ガアルナラ私ハ
之ニ反對シヨウト思ヒマス

○高橋委員 關聯シテ簡單ニ御尋シテ置キ
タイノデアリマス、此ノ法案ニ對スル配列
整備ノコトニ付テハ、私ハ同感ノ考ヲ持ツ
テ居リマスガ、私ノ今御尋致シタイト思ヒ
マスコトハ、由來日本ハ法令國ト言ハレテ
居ルダケニ、煩雜ナル法令ヲ施行シテ居ル
ノデアリマスガ、最早國民ト云フモノハ餘
リニ煩雜ヲ極メタ此ノ法令ノ送迎ニ違ナシ
ト云フ氣持デ居リマス、是ハ中ツテ居ルカド
ウカ知リマセヌケレドモ、八万箇條カアルト
云フコトヲ言ウテ居ル人ガアリマス、是ハ嘘
カ本當カ分リマセヌガ、併シ私ハ、枚舉ニ違
ナシト申シテモ差支ナイト思ヒマス、専門家
スラモ新舊法律ノ全體ニ通曉シテ、效果ノア
ル比較參考サヘモ出來兼ネルト云フヤウナ實
情ニ在ルノガ、我ガ日本ノ法令ノ布カレテ
居ル現狀ダト思フノデアリマス、ソコデ是
ハ大森民事局長ニ御尋スルト云フコトハ、
或ハ當ラナイカモ知レマセヌガ、此ノ機會
ニ於テ政府ノ御意見ヲ、若シ今日御伺ヒス
ルコトガ出來ナイナラ、他日伺ツテモ宜イ

ノデアリマスガ、或ハ類別的ニ或ハ種別的
ニ、根本的ナ法典全般ニ互ル整理、整備ヲ
爲スノ目論見、計畫ガアルカドウカト云フ
コトヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス、單ニ今
出サレテ居ルモノダケデナシニ、法令ノ全
般ニ互ル整備改革ト申シマセウカ、兎ニ角
根本的ナ整備ヲスル意圖ガオアリニナルカ
ドウカト云フコトヲ伺ツテ置キタイ

○大森政府委員 法令全般ノコトニ付キマ
シテハ、私ハ固ヨリ之ヲ申上ゲルコトガ出
來ナイノデアリマス、唯私共ノ擔任シテ居
リマス事項ニ關スル限リニ於キマシテハ、
極メテ御同感デアリマス、前回山本委員ヨ
リモ非訟事件手續法ニ付テ御指摘ガアリマ
シタガ、非訟事件手續法ノ改正法律案デ御
審議願ヒマシタ如ク、第何條ノ十トカ、第
何條ノ二十トカ、アア云ツタ繼ギハギノヤ
リ方ハ、私共トシテモ決シテ之ヲ好マリナ
イデアリマス、唯非訟事件手續法ニ付キマ
シテハ、商法中改正法律ニ依ル變更ノ外ニ
次ニ來ルモノハ恐ラク民法ノ改正ニ基ク變
更デアリマセウ、ソレ等ノモノガ一應濟ミ
マシタナラバ、形ヲ整備シテ、分リ易ク見
易クスルコトハ、固ヨリ必要デアラウト思
ヒマス、デアリマスカラ私共ノ擔任ニ關ス
ル事項ニ付テハ、努メテ御趣旨ニ副ツテ行

キタイト存ジテ居リマス、左様御諒承ヲ願
ヒマス

○高橋委員 民事局長ノ御意圖ハ能ク了解
致シマシタガ、單ニ民事トカ刑事トカ云フ
一部局ニ限ラズニ、法典ノ全般ニ涉ツテノ根
本的ナ根幹ニ斧鉞ヲ加ヘ、改正ヲ試ミラレ
ンコトヲ希望致シマス、是デ私ノ質問ハ終
リマス

○牧野委員長 本案ニ付テハ別ニ御質疑ハ
アリマセヌカ

〔ナシ〕ト呼フ者アリ

○牧野委員長 本案ニ付テハ質問終了ノコ
トニ取計ツテ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○牧野委員長 ソレデハ商法ヲ引用スル條
文ノ整理ニ關スル法律案ニ付テハ、質疑終
了ノコトニ決定致シマシタ、尙ホ本案ノ採
決ハ、非訟事件手續法中改正法律案ト、裁
判所構成法中改正法律案ト同時ニ致シタイ
ト思ヒマスカラ、此ノ際後廻シト致シマス、
引續キ議員提出ノ法案ノ審議ニ移リマス
ガ——一寸速記ヲ止メマス

〔速記中止〕

○牧野委員長 司法書士法中改正法律案、
鹽川正藏君外一名提出、之ニ付テ提出者ノ
趣旨辯明ヲ求メマス

○鹽川正藏君 只今議題トナリマシタ司法書士法中改正ノ件ニ付キマシテハ、其ノ改正ノ根本趣旨ニ付キマシテハ、既ニ本會議ニ於テ簡單ニ申述ベマシタ通りデアリマシテ、本法ノ改正ノ内容ノ主ナルモノハ、司法書士ヲ採用致シマスニ付テハ檢定委員ノ試験ヲ受ケテ、其ノ試験ニ合格シタルモノヲ以テ之ヲ司法書士ニスル、斯ウ云フ事柄ガ一ツノ根本方針デアリマス、モウ一ツハ同じ地方裁判所ノ管轄内ニ居リマス所ノ所屬ノ司法書士ハ、司法書士會ヲ組織致シマシテ、サウシテオ五ニ研究ヲシ、又司法官トノ連絡ヲ取ルコトニスル、斯ウ云フ關係ト云フモノガ第二ノ眼目デアリマス、大體其ノ二ツノ趣旨ニ依リマシテ、ソレニ關係シマシタ後ノ條文ガ出テ來テ居ルヤウナ譯デアリマス、以上ノ趣旨提案ヲ致シマシタ次第デアリマス、尙ホ本案ハ既ニ何回モ提案ニナリマシテ、何時モ御協賛ヲ得テ居ル法案デアリマス、此ノ點附加ヘマシテ御賛成ヲ願ツテ置キマス

○牧野委員長 本案ニ付テ御質問ガアレバ……

○一松委員 議事進行——モウ一ツ一緒ニヤツテハ如何デスカ

○牧野委員長 サウデスカ、デハ同じク、

司法書士法中改正法律案、中山福藏君外二名提出、提出者ノ趣旨辯明ヲ求メマス

○一松委員 私ハ、提出者ノ一人デアリマスカラ、提案理由ノ説明ヲ致シマス、是ハ只今鹽川君ノ御提案ニナリマシタ法律案ト、内容形式總テ同一デアリマス、而モ本案ハ元ノ司法代書人ト云フモノガ、何トカ品位ヲ向上シテ組織的ニ行動シタイト云フノガ目的デアリマシテ、先ヅ名前ヲ司法書士ト云フコトニ變ヘヨウデハナイカト云フコトガ、色々問題ニナリマシタガ、是ハ先年司法代書人法中改正法律案ヲ政府ガ御提出ニナリマシタ當時ニ、其ノ名義ヲ司法書士ト變ヘマシタ結果、司法代書人カラ司法書士トナツタノデアリマシテ、其ノ名前ヲ變ヘル目的ハソレデ達成致シタノデアリマス、殘リマス問題ハ、詰リ會ヲ設ケル、又品位ヲ向上セシメル爲ニハ資格ヲ定メ、試験制度ヲ設ケル、斯ウ云フヤウナ二ツヲ要望シテ居ルノデアリマス、詳細ナコトハ鹽川君ノ御説明ノ通りデアリマシテ、此ノ司法書士ノ仕事ガ司法事務ノ消長ニ一大影響ノアリマスルコトハ、私ガ言フマデモアリマセヌ、裁判所ノ雇ヲシタ者ガ辭メレバ司法書士ニナリ、六法全書ヲ少シ讀ンデモ司法書士ニナルト云フヤウナコトデハ、此ノ司法

ノ補助機關アル司法書士ノ品位ノ向上ハ出來マセヌ、人權ノ尊重ト云フ方面カラ考ヘマシデモ、之ニハ相當ノ資格ヲ與ヘル爲ニ試験制度ヲ設ケル、或ハ會ヲ設ケルト云フヤウナコトニシテ、司法大臣ガ直接之ヲ監督スル、指導スルト云フヤウナ方法ニ改メルコトガ、最モ必要デアラウト云フ意味ニ於キマシテ、斯ウ云フヤウナ改正案ヲ提出シタ次第デアリマス、何卒慎重審議ノ上御協賛アラント御願致シマス

○牧野委員長 此ノ兩案ニ付テ御質問ガアリマスカ

〔質問ナシト呼フ者アリ〕

○牧野委員長 ソレデハ此ノ程度ニ止メテ後廻シニ致シマス

○牧野委員長 次ハ建築士法案、提出者野村嘉六君

○野村嘉六君 此ノ建築士法案ハ是ハ前ニ二回衆議院ヲ通過致シタノデアリマス、理由ノ要點ヲ申シマス、昨今世運ノ進展ニ伴ヒマシテ、公私ノ建築事業ガ段々ト隆昌ヲ見ルニ至ツタノデアリマス、ソレデ其ノ處理經營ニ際シマシテ、複雑ナル事情ト機微ナル事態トノ發生スルコトハ、又以前ノヤウナ時トハ違ツテ居リマス、サウシテ國民日常ノ生活ト密接ナル關係ヲ有シ、且ツ

其ノ財産ノ要素タル建築ノ計畫及ビ監督ハ、適當ノ教養ト技能ト經驗トヲ要スルハ勿論デアリマス、隨ヒマシテ之ヲ業トスル者ノ職責ヲ明ニシテ、以テ諸般ノ弊害ヲ未然ニ防ギ、併セテ建築物ノ安固ト精華トヲ期シタイ、茲ニ此ノ制度ヲ設ケマシテ、サウシテ現行ノ建築物取締ニ關スル法規ト相俟ツテ、國民ノ利益ヲ保護シ、國家ノ福祉ヲ増進シタイト云フノガ本案提出ノ理由デアリマス、前ニモ申シマシタ通りニ本案ハ衆議院ヲ二回通過シテ居ルノデアリマシテ、ソレデ案ノ骨子ト申シマスノハ、即チ目的ト致シマシテハ建築ニ關スル設計、工事監督、調査又ハ鑑定、是ガ建築士ノヤルベキ職業ノ大體ノ範圍デアリマス、ソレカラ建築士ノ資格ハ大體他ノ辯護士トカ計理士トカ云フヤウナ工合デ、ソレゾレ法規ノ上デ是ト稍、同じナノデアリマス、ソレカラ學識ノ點、是モ同様ソレゾレ學校ヲ卒業シタトカ、又經驗ヲ有シテ居ルトカ云フヤウナ點デアリマス、ソレカラ資格ニ該當セヌ者ハ是モ辯護士、計理士ト同様デアリマシテ、ヤハリ人格、其ノ他刑事ノ處分ヲ受ケタ者トカ云フヤウナ者ハ、資格ヲ持タナイ、斯ウ云フ工合デアリマス、詰リ申シマスルト今日ハ一ツノ建築物デモ

或ハ何万圓トカ、何十萬圓トカ、極ク大キイ建物ニナルト何百万圓ト云フヤウナ相當ナル財産ヲ要スルノデアリマスガ、其ノ初メニ當ツテ設計其ノ他ヲ誤リマス、ソレガ爲ニ非常ナ不利益ヲ被ムル、斯ウ云フコトデアリマス、丁度例ヘテ申シマスルト、大體法律科ヲ出タ者ハ法律ヲ一通リ知ツテ居リマス、知ツテ居ルガ儲テイザ人ノ權利義務ヲ保護スル時ニハ、ソレダケデハイカスト云フノデ、國家ガ茲ニ辯護士試験制度ヲ設ケテ、普通ニ法律ヲ修メタト云フコトダケデハナク、尙ホ國家ガ國家試験ヲ設ケテ、ソレニ及第シタ人ヲ以テ的確ニ他人ノ權利義務ニ對シテノ辯護トカ、補助トカサセル、ソレト同ジヤウナ心持デアリマシテ、人ノ財産建築物ニ對シテモ、同様ナル學識經驗ヲ有シテ居ル者ヲシテ専門ニソレトノ業務ニ從事セシムル、斯ウ云フ考カラ拵ヘタ法律デアリマス、何卒御賛成ヲ願ヒマス

○牧野委員長 本案モ此ノ程度ニ於テ質疑ヲ留保致シマス

○牧野委員長 次ハ行政書士法案

○一松委員 提案理由ノ説明ヲ致シマス、是ハ司法代書人ト云フモノヲ司法書士ト改メマシタ結果、行政代書人ト云フモノモ行政書士ト云フコトニ對立的ノ意味ニ於テ名

前ヲ變ヘヨウト云フコトガ一ツト、司法書士ト云フモノガ其ノ地位向上ノ爲ニ考試ノ試験ヲヤル、サウシテ組合ヲ拵ヘテ團體的ノ行動ヲヤル、同時ニ司法補助機關トシテ國家ノ爲ニ寄與シヨウ、斯ウ云フ立場カラ、ソレト同ジヤウナ地位ニ居ル行政代書人ヲ行政書士ト改メ、サウシテ一面ニハ其ノ行政書士ト云フモノニ對シテモ、ヤハリ資格ヲ一定シヨウ、ソレデ組合ヲ設ケル、斯ウ云フ趣旨デアリマシテ、要スルニ行政代書人ト云フモノノ地位ノ向上ヲシテ、サウシテ國家ノ爲ニ彼等ノ行フ仕事ニ寄與セシメヨウ、斯ウ云フ趣旨ニ外ナラヌノデアリマス、大體ノコトハ提案理由ノ説明ニ書イテアリマスカラ、何卒御賛成ヲ御願致シマス

○牧野委員長 本案モ此ノ程度ニ於テ質疑ヲ留保スルコトニ致シマス

○牧野委員長 次イデ民事訴訟法中改正法律案、是ハ提出者トシテ吾輩ノ名前ガアリマスケレドモ、名川侃市君ニ葉書ヲ出シタノデスガ、オ出デガアリマセヌカラ後廻シニ致シマス——ソレカラ計理士法中改正法律案、是ハ中野治介君ニ葉書ヲ出シタノデスガ來マセヌカラ、是モ後廻シニ致シマス

○牧野委員長 次ハ検査計理士法案——森田重次郎君

○森田重次郎君 提案者ノ一人ト致シマシテ提案ノ理由ヲ説明申上ゲタイト思ヒマス、昭和二年計理士法實施以降十二年ヲ經テ、其ノ間本法ノ根本的ナ缺陷ニ依リマシテ、計理士ノ登録數ガ非常ニ増加ヲ致シマシテ、今ヤ九千人ニ垂ントシテ居ルヤウナ狀態デアリマス、此ノ空前異數ノ激増ニ依リマシテ、計理士界ハ玉石混淆ノ狀態ガ益々甚シク、其ノ弊モ亦相當大キイモノガアルト云フ所マデ來テ居ルノデアリマス、是曩ニ計理士法改正ノ聲ガ朝野ニ起リマシテ、第五十六回帝國議會以來、數次改正建議案又ハ改正法律案ノ提案ガアリ、遂ニ第六十五回帝國議會ニ於テ検査計理士法制定建議ノ採擇ヲ見ルニ至ツタ所以ナノデアリマス、而シテ本制度ノ改正ニハ、現行法ニ依ル有資格者及ビ有資格學校並ニ現登録計理士整理其ノ他ニ關シ、各方面ノ複雑ニシテ多岐ニ互ル困難ナル事情ガ多々存スルノデアリマスケレドモ、其ノ施行後十二年ニ及ンダ今日、現行法ノ缺陷ヲ其ノ儘ニ放置シ、徒ニ延長ニ等シキ若干ノ規定ヲ加除シテ、當面ヲ糊塗シテ居リマスルナラバ、益、其ノ改善ヲ遲延セシメ、悔ヲ他日ニ貽スニ至ルヤモ知レナイノデアリマス、惟フニ産業日本ノ轉換期ニ伴フ統制經濟ノ進展、竝ニ商

法其ノ他經濟法規ノ根本的改正實施ニ關聯致シマシテ、本制度ノ改善ニ俟ツベキモノガ益々多クナツテ居ルノデアリマス、仍テ吾吾ハ「會計ニ關スル検査、鑑定及證明」ノ如キ社會性、公共性ノ顯著デアツテ、重要ナル職務ニ付テ世界的水準ニ依ル新シイ法律ヲ制定シ、以テ有能適格ナル計理士ニ向上ノ進路ヲ開キ、計理士界ノ分化發展ヲ促進シ、時勢ノ推移ニ適應セシメントスル爲ニ、本法案ヲ提出致シタノデアリマス、何卒滿場ノ御賛成ヲ得タイト思ヒマス

○牧野委員長 本案モ此ノ程度デ質疑ヲ留保致シマス

○牧野委員長 次ハ裁判所構成法中改正法律案、岡本實太郎君外十二名提出

○高橋委員 提案者ノ一人ト致シマシテ、簡單ニ提案理由ノ御説明ヲ申上ゲマシテ、偏ニ同僚各位ノ御協賛ヲ願ヒタイト思ヒマス、本案ノ本旨ト致シマスル所モノハ、司法官タル人材ヲ簡拔網羅スルコト、竝ニ其ノ優遇ト云フ二點ガ趣旨トスル所デアリマス、惟フニ裁判所構成法布カレテ茲ニ五十年ニ垂ントスル歲月ヲ閱シテ居ルノデアリマス、之ヲ他ノ法典ニ比較シテ、他ノ法典ハ社會實情ノ推移ニ伴ツテ、之ニ適應スル或ル程度ノ修正改善ガ加ヘラレテ居ルニ

拘リマセズ、獨リ裁判所構成法ノミハ、舊態依然タル實情ニアルコトハ、洵ニ私共文化ノ進運ノ最モ急「テンポ」式ナ實情ニ照シテ

見テ、遺憾ヲ感ズル者デアリマス、更ニ司法界ノ現狀ヲ見ルニ有ユル制度ノ改革、法令ノ改廢、固ヨリ必要デアリマスガ、併シ

ナガラ本當ニ司法ノ威信ヲ保チ、其ノ權威アル運行ヲ爲サントスレバ、結局歸スル所司法官トシテノ人的素材ト云フモノニ歸局

シナケレバナラスト思フノデアリマス、其ノ人的素材ノ更ニ中核ヲ成ス素因ハ何デア

ルカ、ソレハ本當ニ社會實情ト云フモノニ通曉シテ居ルト云フコトデナケレバナラスト

思フ、今ヤ世ノ中ハ益、多事複雑ヲ極メテ居リマス、此ノ微妙ナル複雜性ト云フモノ

ニ徹底シテ、人情ノ機微ヲ穿ツ眞ニ社會ノ實情ニ即シタ裁判ヲ爲スコトニ依ツテ、司

法ノ威信ヲ保タントスルニハ、之ニ適當ナル人的素材ト云フモノヲ配置スル必要ガアル、然ルニ現行裁判所構成法ノ規定スル所

ノ制度ヲ以テハ、此ノ大キナ根本的ノ目的ヲ達スルニハ、到底不能デアルト斷言シテ

ノ目的ヲ達成セントスルノガ、本案ノ趣旨デアルノデアリマス、何卒御協賛ヲ御願致シマス

○牧野委員長 引續イテ辯護士法中改正法律案ニ關スル趣旨辯明ヲ求メマス——池田君

○池田清秋君 只今上程セラレマシタ辯護士法中改正法律案ニ付テ、提案ノ理由ヲ簡單ニ御説明申上ゲマス、現行辯護士法第五條ニハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタ者ニ對シテハ、絕對ニ辯護士タルコトヲ得ズト規定セラレテ居リマス、之ヲ醫師法、獸醫師法、藥劑師法等ト比較致シマス、是等ノ法律ニ於テハ六年以上ノ體刑、若クハ以上ノ場合ニ於キマシテモ、主務大臣ハ登錄ヲ許サザルコト又ハ登錄ヲ取消スコトヲ得トアリマシテ、之ヲ主務大臣ノ任意規定ト致シテアリマス、然ルニ辯護士法ニ於キマシテハ絕對ニ辯護士タルコトヲ得ズトシテアリマシテ、非常ニ過酷ナ制裁トナツテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り辯護士ハ辯論事務ニ從事致シマス關係上、選舉等ニ際シマシテハ之ニ關與スル機會ガ非常ニ多イノデアリマス、而シテ其ノ實例トシテハ非常ニ不權衡ダト思ハレルコトハ、例ヘバ選舉違反等ニ於キマシテ共犯關係ガアル場合ニ、

共犯ノ一人ガ醫師其ノ他ノ者デアリマス場合ニ於テハ、二年三年ノ處罰ニ掛ツテモ尙且ツ其ノ職務ヲ執ルニ何等ノ差支ナイニ拘ラズ、辯護士ハ僅ニ一二箇月ノ處刑デアツテモ、絕對ニ其ノ職務ヲ執ルコトガ許サレナイノデアリマシテ、非常ニ不公平ナ結果ヲ招來スルノデアリマス、其ノ實例ハ洵ニ多イノデアリマス、隨テ裁判所ニ於テハ實際ニ於テ此ノ不公平ヲ緩和スル爲ニ、特ニ輕キ體刑ヲ科スベキ場合ニ於キマシテモ、辯護士ニ限ツテハ極度ノ罰金刑二千圓ヲ科シテ、此ノ不公平ナ規定ヲ緩和セラレル實情ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ實情ニ依ツテ見マシテモ如何ニ現行辯護士法ガ過酷デアルカト云フコトヲ、窺ヒ知ルコトガ出來ルノデアリマス、以上ノ理由ヲ以チマシテ本改正案ヲ提出致シタノデアリマス、本案提案ノ理由ハ洵ニ簡單明瞭デアリマス、或ハ此ノ辯護士ハ職務ガ法律ニ携ツテ居ルカラ、ソナナコトヲ少シ位設ケタツテ引ツ掛ラナイカラ宜カラウト仰シヤル方ガアルカ知レマセヌガ、共犯ノアル場合ニ於テ、共犯ノ一人ガ、イヤアノ辯護士モ十分承知ノ上デスト云フコトヲ言ヘバ、共犯ノ點デ逃レルコトガ絕對ニ出來ナイヤウナ場合ガ非常ニ多イノデアリマス、此ノ事例ハ頻タト

シテ選舉違反等ニ於テハアルノデアリマシテ、之ヲ緩和スルコトニ依ツテ現在ノ實際ノ不均衡ヲ是正シタイト云フノガ、本案提案ノ理由デアアルノデアリマス、何卒御審議ノ上御賛成アラントヲ希望致ス次第デアリマス

○牧野委員長 本案ハ此ノ程度ニ於テ質疑ヲ留保致シマス

○牧野委員長 次ハ便宜上服部君ノ辯護士法中改正法律案ニ付テ御説明ヲ願ヒマス

○服部英明君 只今上程セラレマシタ辯護士法中改正法律案ノ提案ノ説明ヲ簡單ニ申上ゲマス、郡部所在ノ裁判所又ハ地方裁判所支部ハ、取扱事件數寡少ノ爲辯護士ノ常住者少ク、隨テ訴訟關係人ノ利便ヲ圖ル爲他所居住辯護士ノ出張事務所ノ設置ヲ必要トスルノデアリマス、而シテ現時ニ於ケル辯護士ノ分布狀況ヲ見マサルノニ、出張事務所ノ數ヲ急激ニ整理スルハ妥當ナラザルヲ以テ、事務所ノ數ヲ二個マデハ之ヲ認メルコトトシ、以テ訴訟關係人ノ不利不便ヲ緩和スルト共ニ、事務所關係者ノ失職ニ惡影響ナカラシメントスルノデアリマス、之ヲ要スルニ從來ハ事務所ガ無制限ニ設ケラレマシタノデアリマスルガ、ソレガ弊害ガアルト云フノデ、現行法ヲ以テ極端ニ一事

務所デナケレバナラヌト云フコトニ制限ヲサレマシタ、無制限ニ事務所ヲ設ケルコトニハ、若干弊害ガアルデアリマセウ、サリナガラ極端ニ一事務所ト限ルコトモ亦不便ナラザルデアリマス、要スルニ其ノ中庸ヲ取ツテ二箇所位ハ認メルコトノ出來ルヤウニシタ方ガ、極メテ穩當ト認メルデアリマス、是ガ本案ヲ提出シタ所以デアリマス、ドウゾ御審議ノ上御協賛アラントヲ希望シマス

○牧野委員長 本案ハ此ノ程度ニシテ質疑ヲ留保致シマス

○牧野委員長 次ハ辯護士法中改正法律案及ビ刑事訴訟法中改正法律案、ハ便宜上同一提出者デアアル高橋君ヨリ御説明ヲ願ヒマス

○高橋委員 世界文化國ノ總テハ、早クヨリ辯護士試補制度ノ設立ガアツタノデアリマスガ、獨リ我が日本ノ司法制度トシテハ、此ノ制度ガナカツタコトハ憾ミトシテ居ル所デアリマシタガ、先年幸ニ此ノ制度ヲ布カレマシテ、ソコデ私共ハ此ノ制度ノ存在ト云フモノニ對シテ、之ヲ是認スルト共ニ是ガ是正ニ依ツテ、ヨリ良キ發展ヲ遂ゲシメタイト云フ希望ニ滿チテ居ルノデアリマス、此ノ趣意ヨリ致シマシテ本案ヲ提出シ

タ所以デアリマス、此ノ説明ヲ申上ゲル骨子ハ、大體理由書ニ明カデアリマスルカラ多クヲ申上ゲマセヌ、要ハ試補トシテノ修習ノ本體デアアル實務ト云フモノニ對シテ、本當ニ徹底シタル實務修習ノ實ヲ擧ゲタイト云フコトガ一ツ、此ノ本體ヲ根幹ト致シマシテ更ニ有形無形ニ試補ヲシテ安ンジテ其ノ修習ヲ全ウセシムルノ制度ヲ、是ニ執ラシメタイ、此ノ動機ヨリ致シマシテ只今議題ト相成ツテ居リマス二案ヲ、提案ヲ致シマシタ次第デアリマス、詳細ナコトハ御質疑ニ依ツテ御答ヲ申上ゲルコトニ致シマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ願ヒタイト思ヒマス

○牧野委員長 兩案ハ此ノ程度ニ於テ質疑ヲ留保致シマス

○牧野委員長 次ハ公證人法中改正法律案、提出者中野治介君

○中野治介君 裁判所書記ノ地位向上ヲ圖ル爲其ノ公證人タルコトヲ得ルノ途ヲ開クト云フノガ、本案提出ノ理由デアリマス、是ハ裁判所構成法實施以來五十年間、公證人役場ノ設置サレテ居ナイ所ハ、公證人法ノ規定ニ依リマシテ、裁判所書記ガ取扱フコトニナツテ居マシテ、漸次公證人ノナイ所ニ公證人役場ガ設置サルニ至リマシタ

ガ、今尙ホ相當ニ公證人役場ノナイ所ガアルノデゴザイマシテ、長イ間裁判所書記ガ公證人ノ事務ヲ執リ來ツタノデアリマスガ、一ツモ失態等ガゴザイマセヌノデ、茲ニ實質的ニ裁判所書記ガ公證人タルノ資格ヲ有スルト云フコトハ、名實共ニ立證セラレテ居ルヤウナ次第デアリマス、所デ法ノ上ニ資格ヲ與フルコトニナツテ居リマセヌノデ、現在ノ實情ハ裁判官ノ上ノ人ガ辭メマシテ、ソレガズツト公證人ヲ勤メルコトニナツテ居リマシテ、是ハ色々情勢カラ見マシテモ甚ダ不愉快ニ感ゼラレルノデゴザイマスシ、名實共ニ裁判所書記ニ其ノ資格ヲ與フルコトガ、何レノ方面カラ見テモ適正ト考ヘラレルノデ、本案ヲ提出シタ次第デアリマス

○牧野委員長 次ハ便宜上、計理士法中改正法律案ニ付テ中野君ノ趣旨辯明ヲ求メマス

○中野治介君 是ハ屢、衆議院ヲ煩ハシタ案デゴザイマスガ、計理士法施行セラレマシテ茲ニ十有一年餘、此ノ間計理士登錄簿ニ登錄ヲ受ケタル者、既ニ八千六百餘名ヲ算フルニ至ツテ居リマシテ、尙ホ逐日増加スル傾向ニアルノデアリマス、是ガ監督ニ關シマシテハ、現行法中ニ定メル所ガナイデ

モアリマセヌガ、其ノ風紀ヲ保持シ、當業者ノ地位ヲ向上セシメ、類似業者ノ跋扈ニ因ル業界ノ攪亂ヲ統制シ、一層國家産業及ビ經濟界ニ貢獻セシメンガ爲ニハ、辯護士法或ハ判理士法ニ於ケルガ如ク、其ノ統制機關タル計理士會ノ規定ヲ設ケテ、當業者ヲシテ俱ニ相誠メルコトガ最モ必要デアルノミナラズ、又ソレガ國家ノ監督統制上ヨリ見テモ、一日モ忽諸ニ出來ナイコトト信ジマシテ、本計理法中改正法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス

○牧野委員長 右兩案ハ此ノ程度ニ於テ質疑ヲ留保致シマス、是ニテ一應議員提出法律案ニ付テノ趣旨辯明ハ、終了致シタ次第デアリマス、一寸速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○牧野委員長 ソレデハ暫時休憩致シマス

午後二時五十分休憩

午後三時開議

○牧野委員長 開會致シマス、内務大臣ハ貴族院ノ豫算總會ニ出席ヲ致シテ差支ガアリ、司法大臣ハ遞信大臣トシテ同ジク貴族院ノ豫算總會ニ出席シテ、差支ガアルト云フコトデアリマシテ、本日此ノ席ニ參ルコトガ出來マセヌカラ、此ノ委員會ハ本日ハ之ヲ以テ散會致シマス、次會ハ明日午後一

カラ開キマス

午後三時二分散會

昭和十四年三月二十三日印刷

昭和十四年三月二十四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局